



時習館

笠間市立笠間小学校
学校だより「時習館」
令和8年1月30日（金）
第24号

第3回学校運営協議会(今年度ラスト)を実施しました

1月28日（水）、今年度3回目の学校運営協議会を実施しました。今回で今年度の協議会は最後になります。令和7年度の活動を振り返り、次年度の方向性や展望について確認し合いました。また、今回は低学年の授業を委員の皆様に参加していただきました。どのクラスの子ども達も、楽しく熱心に学び合っていました。個人端末（タブレットPC）を使って調べ学習をしたり、小グループで発表し合ったりしながら、学びを楽しむ姿が見られました。



また、次年度の学校運営について、現時点での構想を学校側から委員の皆様の説明し、ご質問やご意見を頂きました。話し合いの内容を以下紹介いたします。

●学校より

- ・ 現在、児童の体操着のハーフパンツのみ、男女で色分けをしているが、ジェンダーフリーの時代に相応しい体操着の在り方を見直すと同時に、兄弟姉妹のおさがり等の有効活用を促進するため、4月から体操着のハーフパンツについては、性別に関係なく紺色・水色を履くことができるものとした。ただし新1年生のスタート時については、メーカー在庫等も考慮し、男子紺色、女子水色を購入していただく。令和9年度の新1年生から、男女とも紺色を購入していただく。将来的（6年後）には全て紺色に統一していきたい。
- ・ 令和8年度の日課について、次の2点について変更を検討したい。
 - ◎ 児童の下校時刻を現在より10分早める。【理由：バス利用の児童の中で、最も遅くなるバス下車時刻は16:44であり、日が短い季節は日没後の帰宅となっており安全面で心配である。また、市内小学校で、本校の下校時刻が最も遅い（6時間授業日15:50）。市内小学校の平均下校時刻は15:35（6時間授業日）】
 - ◎ 現在の45分授業を40分授業に変更し、新たに「笠小タイム（仮称）」として20分授業（毎日実施）を創設する。【理由：①多様な子どもたちに対応するために、より集中できる短時間授業（40分）を実施し学力向上を図る。②算数や国語では、学習内容の定着を図るために、ある程度まとまった補充の学習時間（笠小タイム20分）があると有効である。③次期学習指導要領改訂に向けて中教審が論点整理を公表したが、その中に各学校の創意・工夫による『柔軟な教育課程』の実現が盛り込まれた。現行の学習指導要領上でも授業の総時間数が保障されていれば、1時間の授業を45分に固定せず授業実施が可能である。】

●協議会委員からの質問・意見と学校からの回答

- ・ ハーフパンツの色を将来的に統一していくことについては、問題はないと思う。
- ・ 児童の下校時間を早めることや40分授業実施については、保護者アンケートも参考にした方がよい。
⇒ 学校（今後、保護者アンケートを取り、ご意見をいただく予定）
- ・ 20分間の笠小タイムは、学びに集中できる適切な時間であると思う。子どもが集中できる時間は15分～20分と言われるので、20分×2の40分授業もよいのでは。
- ・ 中学校は50分のままか？もしそうなら、中学校に進学したとき、授業が10分増えて中1ギャップが心配では？
⇒ 学校（現時点で笠間中が授業時間を次年度短くする話はない。6年生については、例えば年度末に45分授業や50分授業を実施し、中学校生活に向けての「慣らし」ができるよう配慮したい。）
- ・ いままでの45分授業が40分になったら、学習時間が減ってしまうが、問題（未履修等）はないか？
⇒ 学校（毎日の笠小タイムの時間に、例えば月曜日は算数、火曜日は国語、…のように5分ずつ短くなった分、各教科の授業を行うので、学習時間の総時間数は確保できる。

※ 協議会委員の皆様からは、次年度の学校の考え方について概ね内諾を頂きました。今後、保護者の皆様方にアンケート調査を実施し、次年度の構想についてご意見や感想をいただきながら、学校運営を進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。